

り
く
な
あ

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 38

令和7年3月1日発行

2025.3
第38号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903

りくなあ



あきらめないこと・ 粘り強く

安原工業団地協同組合青年部 部長

紙 本 寛 之

昨年6月より新部長となり、青年部として計画した地域交流会や研修旅行、様々な事業を行ってきました。4名の新入部員を迎えることもでき、反省する点は多くありましたが、部員の皆様方との協力により、なんとか事業を成功させることができました。

事業を進めていく中で気掛かりだったのは、やはり元日に発生した能登半島地震と9月の能登豪雨でした。組合員の会社の支店が被害に遭い、社員の御実家や親戚の方々も被災し、今もお普段の生活が難しい方がいると聞いています。

安原工業団地の多くの組合企業はもちろん、全国の企業からも義援金や機材の提供、人的支援を行っている中で、能登の復興も進んでいると思っていました。

しかし、1年が経過して能登豪雨の痛手もあり、倒壊したままの手付かずの家屋や崩落寸前の道路や橋、いたる所に雑然と積み上がった土砂、流木、瓦礫。身近な内灘町でさえ液状化の影響が強く、傾いたまま放置された電柱など、過酷すぎる現実を目を背けたい気持ちにもなります。

完全な復興まで、まだ先は遠いかもしれませんが、製造業経営者として、今まで以上にできることがあるのではないかと模索し実行していきたいと思います。また、2月には「水害・土砂災害から身を守るために」と題して研修会も開催されました。青年部部长として、地域に少しでも災害対策に気持ちを向けられるような意義のある活動を行っていく所存です。

組合員の皆様方には我々青年部の活動にご理解を頂き、変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

一人一人の力は小さなものかと思いますが、皆が同じ気持ちで力を合わせ、あきらめずに粘り強く継続していくことが、地域全体の活性化はもちろん、あの素敵な能登の景観や人々の元の日常など、復興に繋がると信じています。

令和7年 新年懇親会

令和7年1月7日(火)午後6時30分より組合・町会合同新年懇親会が、ホテル日航金沢にて60名の参加で開催されました。開会に先立ち、前田慶次郎としてテレビでご活躍され“いしかわ観光特使”も務めておられます村田彦二師範による新年を祝う剣舞が披露されました。

米澤卓也理事長の年頭の挨拶の後、金沢市長代理として上寺武志経済局長、下沢佳充石川県議会議員より新年のご挨拶をいただき、塚脇孝司安原地区町会連合会長による乾杯のご発声で宴に移りました。終始和気あいあいとした雰囲気でご談話後、中村俊彦町会長の中締めでお開きとなりました。

皆様本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



令和6年度 文化講演会

文化講演会が、令和6年11月21日(木)午後6時より金沢市異業種研修会館にて、組合員、地域の方々を含め61名の参加で開催されました。講師に(公財)ほくりくみらい基金理事の野水克也氏を迎え、「震災で改めて考える 自助、公助、共助の新しい形～縛りあわない助け合いの姿～」と題し、ご講演いただきました。

ご自身も輪島で被災され、時にはジョークを交えながら、現場での体験や被災した時のために備えておくべきことなど約1時間半講演いただきました。とても為になるお話で1時間半が短く思えるほどでした。

以下に特に大切だと言われていたことをご紹介します。

【これだけやれば5日間は死なない】→5日のうちに必ず助けが来てくれるからとにかく5日生きぬく

1. 車のガソリンは常に半分以上入れておく
2. 災害用トイレの凝固剤を揃える(汚物のにおいが一番の問題)
3. カセットコンロ常備で年に一度ガス交換
4. 水は常に2Lを1ダース(あと米があれば死なない)
5. 大きくて丈夫なダイニングテーブル(地震の時とっさに下に潜る事は物凄く有効)
6. 高齢者の寝室は耐震壁に
7. ラジオ必須(カーラジオ可)(情報がないと本当に不安になるため)
8. スマホが繋がらない時は諦めて切っておくこと(基地局を探す時一番電力を使うため)
9. 普段より子供に緊急の電話番号は暗記させる(携帯が使えないとかけられないため)
10. 田舎は一家に一台石油ストーブ



令和6年度 第45回ソフトボール大会 途中中止となりました

令和6年9月8日(日)安原小学校グラウンドにて、安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛で第45回ソフトボール大会が行われました。今年は9チーム(町会選抜チーム、組合青年部チーム、企業チーム7社)が参加し変則リーグ戦にて行われましたが、2回戦終了間際のゲリラ豪雨によりそのまま中止となりました。来年度も開催の予定ですので、奮ってのご参加、リベンジをお待ちしております。

令和6年度 視察研修旅行

本年度の金沢市工業団地連絡協議会合同の視察研修旅行は、11月15日(金)～16日(土)に当組合6名、総勢19名が参加し実施されました。

最初に兵庫県加東市を訪れ、家電製品を解体し、部品として再生している「パナソニックエコテクノロジーセンター」を見学しました。

その後、神戸市へ移動し、阪神淡路大震災の記録や資料を展示している「人と防災未来センター」を訪れました。

2日目は、兵庫県を主な産地とする山田錦を原料に銘酒「福寿」を製造する「神戸酒心館」を見学し、岐路につきました。



企業経営動向に関するアンケート調査報告 ～景気は緩やかに回復している～

年明け1月の政府月例経済報告は、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。」とし、緩やかな回復基調と判断している一方、「海外景気の下振れが及ぼす影響に注意する必要がある。」とし、アメリカの政策や中東情勢の動向を憂慮しています。

本年のアンケート調査には、組合員185社のうち、103社の回答があり、回収率は55.7%となりました。

企業経営動向では、前年度と比較して「売上高減少」が32%(前年度19%)に、「採算性悪化」が25%(前年度11%)と厳しい経営状況を示しています。

日本政策金融公庫、石川県中小企業団体中央会が実施した調査でも、製造業を中心に業況悪化あるいは悪化の見通しとの結果が示されており、物価上昇等による経営状況の悪化が懸念されています。

無災害記録証(金賞)授与

サンユー精密株式会社が無災害記録3400日を達成し、中央労働災害防止協会より無災害記録証(金賞)を授与されました。

大和義廣代表取締役は「快適に働ける職場環境をつくるのが無災害の極意」と話しています。



芽室東工業団地親交会から視察

芽室東工業団地親交会(北海道河西郡)が9月18日(水)視察研修のため安原工業団地協同組合を訪れました。一行は能登半島地震の被災地を視察したのち、地震の影響や組合活動の課題、将来の展望等について意見交換し、兼六園等を観光したあと、帰路につきました。



第14回 合同ゴルフ大会

令和6年9月16日(月・祝)、組合・町会合同ゴルフ大会がゴルフクラブツインフィールズ ゴールドコースにて開催されました。

秋晴れの絶好のコンディションの下、8組31名が参加し、(株)ITK マシナリー上田靖隆さんが優勝しました。

プレー後には表彰式を兼ねた懇親会が開かれ、参加者は相互に親睦を深めました。



女性部 活動報告

9月24日(火)

【中央会女性部活動(能登半島地震の支援事業)】

牛王印(白山市尾添一里野)にて、被災者の受け入れを行っていた事業者を主な対象として、支援を目的とした事業が開催されました。疲れやストレスを緩和する為の、日本茶の種類とお茶の淹れ方や楽しみ方、ハンドマッサージの体験を通じて心身への効果と重要性を学びました。2名参加しました。

10月17日(木)

【中央会女性部活動(訪問事業)】

深谷温泉「元湯石屋」にて館内や能舞台について説明いただき、その後「金沢市旅館ホテル協同組合うめ鉢会」の取り組みの発表を聴き、意見交換会を行いました。午後から「宗桂会館(金沢テクノパーク日機装(株)内)」や「(株)オハラ津幡工場(津幡町)」「いしかわ動物愛護センター(森林公園内)等を視察しました。4名参加しました。



11月16日(土)

【第2回研修会】

能美市防災センターを訪問し、防災意識を高めるため、災害の疑似体験を通して災害の怖さや備えの大切さを学びました。地震の揺れや台風の強風を体験したり、煙が充満した場所からの避難方法の注意点や消化器の使用方法を教えてくださいました。災害のことを知ること、身を守る準備や心構えの大切さを学びました。日頃から自分の命は自分で守る心構えが大切だと言う言葉が印象に残りました。12名参加しました。



11月23日(土)

【花いっぱい！飾花推進活動】

幹線道路のプランターに葉ボタンを植え替えました。綺麗な町作りに、皆様のご協力をお願いいたします。

12月10日(火)

【会員企業にシクラメンを】

毎年恒例になっております、女性部会員企業にシクラメンを配布しました。職場に華やぎを感じてもらえたら幸いです。

1月23日(木)

【中央会女性部活動(第2回全体研修会)】

ホテル日航金沢にて、講師に金沢エコライフくらぶ代表青梅万里子氏を迎え「災害に強い社会を作るために：私たちにできること」をテーマに講演会が開催されました。6名参加しました。

2月21日(金)

【第3回研修会】

金沢市異業種研修会館にて、金沢市役所危機管理課主査中川 翔太氏を講師に迎え、「災害対策～備えと避難～」をテーマに AR ゴーグルを使用した水害の体験講座を開催しました。

本年度も組合皆様のご理解・ご協力のお陰で活動することが出来ました。有難うございます。

女性部は随時会員を募集しています。一緒に活動してみませんか。お待ちしております。

青年部 活動報告

8月31日(土)

『第10回若者交流会』

ダイニングバー JIMHALL にて若者交流会を男性32名、女性11名、合計43名で開催しました。

ゲーム等の企画を用意し、楽しい交流会となりました。参加された方も大変盛り上がりだったので交流を深められたと思います。



9月8日(日)

『第45回ソフトボール大会』

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて、第45回ソフトボール大会が行われました。

今年は9チーム(町会班選抜チーム、組合青年部チーム、企業チーム7社)が参加し変則リーグ戦にて行われましたが、2回戦終了際のゲリラ豪雨によりそのまま中止になりました。各チーム1試合のみの大会でしたが、多くのチームが参加となりましたので、来年が楽しみとの声もいただきました。

9月16日(月・祝)

『第14回安原工業団地組合・町会合同ゴルフ大会』

ゴルフクラブ・ツインフィールズにおいてゴルフ大会が開催され運営のお手伝いをさせていただきました。8組31名が参加し、(株)ITK マシナリー 上田靖隆さんが優勝しました。

9月20日(金)～22日(日)

『沖縄視察旅行』

沖縄へ視察旅行に行っていました。今回は例年より多くの部員の方々に参加していただき、天候にも恵まれ、離島の津堅島や市内の観光地をめぐり、歴史や文化を学ぶ良い機会となりました。沖縄の食文化も味わい、今後の青年部について部員交流を深めることが出来ました。(16名参加)

11月30日(土)

『青年部忘年会』

金沢とり丸にて青年部17名が参加し忘年会を開催しました。紙本部長の挨拶に続き市原副部長の乾杯にて会を進め、部員間の交流を深め、今後もより一層事業に参加してもらえる青年部活動にしていこうと、堅い結束を図りました。

2月26日(水)

『研修会』

金沢市異業種研修会館にて、石川県河川課技師、佐野文哉氏及び石川県砂防課専門員、古源康人氏を迎え、「水害・土砂災害から身を守るために」と題した講演を行いました。

これをもって今年度は無事終了となりますが、日頃からの組合員皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。来年度もよろしくお祈りいたします。

あとがき

年々年始、大雪になるとの予想が外れ、ほっとされた方も多いのではないのでしょうか。同じように、少し先行きが心配される景気の前兆も、良い意味で外れてほしいものです。私たち安原工業団地協同組合も、明るい未来を信じて、新たな企画や活動に取り組んでまいります。本号が皆さまの日々の少しでも温かなひとときを届けられましたら幸いです。(H)

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 羽野 芳康、笠井 恵美子、田中 逸郎、横田 義尾
(事務局) 押田 幹夫、出越 昌子